



新年明けましておめでとうございます。

昨年は、予想をはるかに超える豪雨で、全国各地に甚大な被害をもたらしました。これらの被害は、日本のみならず世界的規模で起こっています。数十年前から地球温暖化問題として全世界に取り上げられ、世界各国が共通の問題として取り組んで出来ましたが、自国の利益優先が先行し、温暖化対策が進展しない現状です。誠に残念です。

この温暖化の影響でしょうか、京田辺市観光ガイド協会が29年度に実施しようとしたガイドツアーが、雨天のため数回中止になりました。参加申込みされた方々には、楽しみを奪ってしまい申し訳なく思っています。

さて29年度は、企画ガイド、応援ガイド、一般ガイドを精力的に実施してまいりました。中でも応援ガイドについては、4月から観光ボランティアガイド協会が、一般社団法人京田辺市観光協会に団体会員として参加させていただいた結果、多くのガイドチャンスに恵まれ、例年になく忙しい1年となりました。

これらの行事を無事に完遂出来たのは、会員の皆様の多大な協力と 関係各団体の心温まる支援によるもので、深くお礼申し上げます。今年も会員一同、お客様に喜びと楽しみと満足を提供できるように頑張りたいと思います。

代表 藤野 隆司

京田辺の祭りと神事 おんごろどん

「おんごろどん」は京田辺市の宮ノ口・江津地区で行われる農耕神事です。「おんごろ」とは関西地方の方言でモグラの事を言います。他に「おんごろもち」とか「うごろもち」とも言います。横槌（藁を芯に縄を巻いたもの）で地面を叩いて農作物を食い荒らすもぐらを追い払い、それによって一年の豊作を祈願するものです。

約500年前から山城地域で広く行われていましたが、現在行われている地域はごくわずかになりました。京田辺では宮ノ口・江津地区に今も続けられている珍しい伝統行事です。

毎年、小正月前日の夜、宮ノ口地区は年少から年長の小学生数名の男児が午後6時に白山神社に、江津地区は公民館に集まり、2～3時間かけて集落の家を一軒ずつ回ります。家に行くと「おんごろどんをさせていただきます」と告げ、モグラうちの唄を唄います。



♪ おんごろどん うちにか (家にいるのか)
横槌どんの おんまいじゃ (お見舞いだ)
おおまけおまけ もうひとつおまけ おまけのおまけ
*くりかえし ♪

そして、子供たちは横槌で家の玄関先や庭先の地面を叩きます。その後その家からお祝儀がもらえます。集落の家を全て回ったら終わりです。

叩いた横槌は、白山神社境内に作られた「とんど」の前に置かれた後、翌日の小正月にとんど焼きと一緒に燃やされます。「おんごろどん」は、京田辺の地で長く継承されてきました。これからもこの希少な伝統が受け継がれていく事を願っています。 (神山)

京田辺ふれあいハイク 9月23日

「初秋の甘南備山から 平安京を望む」

澄み渡る秋晴れの下、もうこれで最後とばかりに鳴くつくつくぼうし。実り始めた秋の果実や、華やかに咲き誇る彼岸花…。夏の終わりと秋の訪れを感じながら、歩いた一日となりました。

十三詣りでお馴染みの虚空蔵さんと涼しげな虚空蔵谷の滝を楽しんだ後、甘南備山へと歩を進め、甘南備山の頂上から、かつての平安京、比叡山などを望みました。山肌にある白石は、平安京の朱雀大路を作る際、目印になったと言われているのですが、すぐそばで見ることができます。山中には呼吸根を持つ植物、落羽松(ラクウショウ)があり、杉木立ちの中にある吉やんの滝に沿って下って行くルートは、抜群の森林浴スポットでした。山を降りてからは、道すがら無人野菜販売所で野菜やしぼりたての蜂蜜を買うことができるのも里山ハイキングの醍醐味♪

長距離でしたが、小学生からシニアの方まで56名のご参加をいただき、皆さん元気に踏破されました！ (塩津)

会員研修会 10月17日

「樹木観察会 in 山田池公園」

花木・野草及び保存木プロジェクトチームとして行っている樹木観察会。観光ガイドで樹木への関心も高まっていることから年4回(春夏秋冬)実施しています。今回は京田辺市を離れて、枚方市の山田池公園へ。せっかくの機会なので、他にも行きたい方はどうぞとお誘いしたところ、22名が参加表明され、担当者もびっくりして計画を練り直しました。近場で広さもあり、景観もよく、樹木(植物)も豊富で巨大な池もあります。その割には意外と行ったことのない人も複数人いました。前夜来の雨が続き参加者は18名になりましたが、5台の車に分



乗して向かい、駐車場横のパークセンター前に9時に集合。降り続く雨の中、「雨の山田池もオツなもの♪」と言い訳をしながらメ

インのつり橋を渡り、樹木名を確認しながら網の目のように続く遊歩道を歩きました。かつては山田池を周回する北側だけでしたが、15年ほど前から南側が公園として開発され外周約5kmの広大な公園となりました。山あり、谷あり、丘あり、芝生広場ありさらに花木園・棚田・果樹園や浮御堂、池の周回コースも、ゆっくり見て歩けばまさに1日コース！途中で雨も上がり、観月提の東屋で昼食をとりました。植物の観察や山田池周辺の風光明媚な景観を堪能し、芝生広場の中の小高い丘での大展望を楽しみ、午後1時過ぎにパークセンターに戻り解散しました。(石橋)

京田辺ふれあいハイク 10月29日

「京田辺で味わう茶香服と 一休寺の薄紅葉」

台風22号が接近していることで開催が危ぶまれましたが、小雨のなか決行となり、9時30分JR大住駅に集合された参加者14名で出発しました。

10時過ぎから「舞妓の茶本舗」様より、茶香服の



歴史やルールの説明を受けた後、茶香服体験を開始。出されたお茶を試飲し、玉露(花)かぶせ茶(鳥)煎茶(風)かりがね茶

(月)玄米茶(客)の5種類のうち何のお茶かを当てるもので、これを3回繰り返して計15回行い15点満点で得点を競い合うゲームです。結果は残念ながら満点の人はなく、11点が1人、9点が2人となかなか難しいものでしたが、全員が悩みながらも楽しく体験しました。

茶香服の途中から雨が激しくなったため、参加者のみなさんに「コースを変更して月読神社で解散し一休寺へは希望者のみとされてはどうでしょうか？」と提案しましたが、14名全員が一休寺まで行くことを希望されました。12時頃北部住民センターを出発し、月読神社、一休寺を拝観。甘南備寺を経由してJR京田辺にて14時頃解散しました。

台風接近の悪天候の中でのウォーキングになりましたが、参加者の方々からは「ありがとうございました。今日は良かった。一休寺へはまた来ます」とありがたい言葉をいただきました。(足立)

このキャンペーンは、これまで畿内の世界遺産や名立たる寺社が選ばれています。ちょうど20回目となる2018年冬季キャンペーンの開催寺社・地域に、一休さんゆかりの「酬恩庵」(通称 一休寺)が取り上げられました！京田辺市観光ボランティアガイド協会も参加協力いたします。

一休さんはアニメの中で“トンチの一休さん”として、日本ばかりか海外でも知られています。しかし本当の一休宗純を知っている人は少ないのではないのでしょうか。一休さんは生涯反骨精神を貫き、時の仏教界や権力を批判、風刺し続け、破天荒な人生を過ごされましたが、一休寺の再興、大徳寺の再建などの大事業をも成し遂げられました。「有漏路より無漏路へ帰る一休み」を地で行った一休さん。こちらの「方丈」の南庭の縁に腰を下ろし、枯山水の白砂を眺めながら一休さんの心の中に分け入ってみては如何でしょうか。



一休寺境内にて定点ガイド

- 実施日：1/13(日)~3/25(日)の期間
毎週日曜日(計11日間)
- ご案内箇所：①総門附近 ②浴室附近
③方丈内部 ④本堂
- 見どころ

- ①総門前から見た参道の風情は絶景。
参道横の一休和尚真筆を写した墨蹟碑も必見。
- ②禅宗の浴室は三黙堂の一つで修行の場。一休宗純の墓は宮内庁管理の御陵墓となっている。
- ③方丈は仏事などを行う寺院の最も重要な場所。
昭堂に安置されている一休和尚座像も必見。
方丈を取り巻く方丈庭園に、心癒される。
- ④本堂は室町時代の代表的な禅宗様建築で、山城地方において最古のもの。

一休寺ガイドウォーク

A)一休み・一休寺をゆっくり散策(半日コース)

- 実施日：1/13, 2/3, 3/3の各土曜日(計3回)
- 集合：9:30(受付) 京田辺駅
- 料金：800円(含:一休寺拝観料・資料代・保険代)
- コース：JR京田辺駅→ 棚倉孫(たなくらひこ)神社 → 甘南備寺(かんなびじ) → 一休とんちロード → 一休寺 → JR京田辺駅(解散：12:00頃)
- 見どころ

 - ①式内社で南山城地方において最も古い社殿を持つ棚倉孫神社。瑞饗神輿(ずいきみこし)で有名。
 - ②今昔物語の「みみず伝説」に登場する甘南備寺。耳の病に靈験あらたかな「耳石」が供えられる。
 - ③一休寺をじっくり堪能。

B)とんちの一休さんと

京田辺の国宝観音さん巡り(一日コース)

- 実施日：1/27, 2/17, 3/17の各土曜日(計3回)
- 集合：9:30(受付) 京田辺駅
- 料金：800円(含:一休寺拝観料・資料代・保険代)
- コース：JR京田辺駅→ 一休とんちロード → 一休寺 → 花見山公園 → 酒屋神社 → 大御堂観音寺 昼食 → 筒城宮伝承地跡 → 壽寶寺 → JR三山木駅(解散：14:30頃)
- 見どころ

 - ①一休寺をじっくり堪能。
 - ②日本に七体しかない国宝十一面観音立像や、日本で三体しかない重文の千手観音立像も拝観。
 - ③筒城宮、酒屋神社を通じ奥深い京田辺市の歴史を味わえる。

行事のお問い合わせは

「京田辺市駅ナカ案内所」(9:00~17:00)へ。

☎ 0774-68-2810

まだある！今後の行事

- 「京田辺の古代史の謎を巡る
パートVI」 日時：1月20日(土)
- 「竹の里京田辺
二月堂お水取りの竹送りを訪る」
日時：2月11日(日)

シリーズ②

「南山城三十三観音霊場巡り」



南山城三十三観音霊場のうち、京田辺市内には7か所の霊場がありますが、観音様の所在がはっきりしているのは5ヶ寺院です。

●18番札所・宮ノ口観音堂・十一面観音立像

元々、白山神社の神宮寺であった法雲寺に所蔵していた観音菩薩立像が、廃仏毀釈で毘沙門天と共に近くの西念寺に移されました。近年、法雲寺として新しく建立され、数十年ぶりに里帰りされました。

●19番札所・江津宮恵日寺：千手観音立像(重文)

延暦年中に最澄により開かれた古刹でしたが、廃仏毀釈により廃寺となりました。その際、千手観音菩薩立像(重文)、金剛夜叉明王、降三世明王、の三仏像が寿宝寺へ、不動明王、軍荼利明王、大威徳明王の三仏像が正福寺へ客仏として移されました。

●20番札所・出垣内念佛寺：聖観音坐像

滋賀県高島市の白鬚神社のある地より送られた仏像。疱瘡のご利益があるとされる観音を安置したのが始まりです。いつしか「疣いぼ」観音と称された。現在、改築された本堂には阿弥陀如来像が安置されています。聖観音像は京都国立博物館に委託されています。

●21番札所・普賢寺大御堂観音寺：十一面観音立像(国宝)

天武天皇の勅願により良弁僧正が息長山普賢教法寺として建立され、十一面観音立像はこの時(744年)の仏像です。像は一木式木心乾漆造り、漆箔仕上げ。国宝の十一面観音像は全国で7体あり、その内、奈良・聖林寺の十一面観音立像と同じ仏所で作られたと言われています。

●22番札所・興戸観音寺：聖観音

明治9年まで酒屋神社の神護寺でしたが、現在は廃寺となっています。現在、光照寺に保管されていますが拝観は出来るか否かは不明です。

●23番札所・北他日光寺：聖観音

開基不明。元は真言宗でしたが、寛永3年、法誉智春上人により、浄土宗となりました。1741年、当地の領主浅井正隆の帰依を受けて聖観音像及び本堂の寄進を受けました。現在、寺は無住職となり拝観出来ません。

●24番札所・飯岡蓮華寺：十一面観音像

蓮華寺は既に廃寺となっています。蓮華寺にあった十一面観音像は、現在、飯岡の阿弥陀寺又は寿宝寺に客仏として安置されているとありますが定かではありません。しかし、蓮華寺にあった弘法大師像は阿弥陀寺へ、聖徳太子像は寿宝寺に客仏として安置されています。



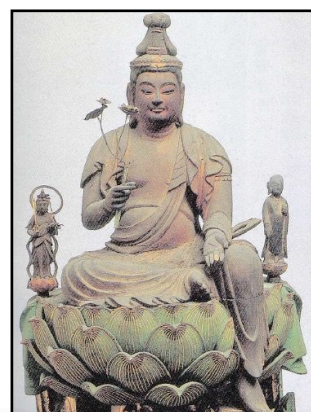
法雲寺十一面観音



観音寺十一面観音



寿宝寺千手観音



念佛寺聖観音